

2020年度 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム 「あさひかわオープンカレッジ」のご案内

共催：旭川市教育委員会

日時：2020年10月24日～12月22日まで、全6回開催します。

場所：フィール旭川7階 シニア大学講座室
(日によって時間が変わります。裏面へ記載)

一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアムと旭川市教育委員会とが連携し、市民のための公開講座を開催します。(資料代として各1講座、500円いただきます。ただし、学生・生徒は無料です。)

今年度は新型コロナウイルス感染症対策としてマスク着用で受講願います。また、受付で検温させていただきます。(熱がある方は受講できません。)
なお、手話通訳が必要な方は、早めにお申込みの上その旨お伝えください。

◎9月1日(火)～募集開始(各講座30名)

- 10月24日(土) 「化学史はいかが? -ノーベル賞科学者 F.ハーバーの栄光と影、そして北海道との縁-」
講師：旭川工業高等専門学校 教授 宮越 昭彦
- 11月9日(月) 「データ科学入門-AI、統計と数学-」
講師：旭川医科大学医学部 准教授 寺本 敬
- 11月14日(土) 「広告のエモーショナル表現」
講師：旭川大学経済学部 助教 田中 晃子
- 11月21日(土) 「高齢者の咀嚼と嚥下について」
講師：旭川大学短期大学部 教授 豊島 琴恵
- 11月26日(木) 「環境倫理を考える-ディープ・エコロジーとは?-」
講師：元名寄市立大学教授 白井 暢明
【旭川ウェルビーイング・コンソーシアム教育コーディネーター】
- 12月22日(火) 「文豪たちの語学力」
講師：北海道教育大学旭川校 教授 十枝内 康隆

※ 講師の都合により、内容等が変更になる場合があります。

[お申込み・お問合せ]

一般社団法人 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

TEL&FAX 0166-26-0338

Mail awbcns2013@gmail.com

旭川ウェルビーイング・コンソーシアムでは、市民のみなさんの身体的・精神的・社会的な健康の達成と、元気な地域の形成に貢献できるよう様々な活動を行っております。

本講座も生涯教育のひとつとして、単なる知的興味の満足や伝達に終わるのではなく、ともに地域の課題を考え、地域づくりに取組む契機となることを目指しております。お気軽に参加ください。（興味のある講座だけでも受講できます。）

定 員：各講座 30名

**募 集 開 始：9月1日（火）から
（道民カレッジ連携講座です。）**

講義概要 10/24（土）（シニア大学講座室） 13：00～15：00

「化学史はいかが？—ノーベル賞科学者F.ハーバーの栄光と影、そして北海道との縁—」

「触媒化学の歴史」をキーワードに、大きく2部構成で講演します。前半は“空気からパンを作った人としてノーベル化学賞を受けたドイツ人化学者、F.ハーバーの光と影の歴史を、その弟子の行方も含めてご紹介します。また、北海道との関りにも触れたいと思います。後半は、F.ハーバーらによって有名になった”触媒“ですが、今なお、地球環境の維持（温室効果ガス防止）やエネルギー問題の鍵技術として期待されています。これらを簡単に説明した後に、演者である宮越の研究の話をご紹介します。

11/9（月）（シニア大学講座室） 14：00～16：00

「データ科学入門 —AI、統計と数学—」

人工知能とビッグデータによって、私たちの暮らしはさらに便利になりましたが、コンピュータ任せで心配になることもあります。仕組み（アルゴリズム）を知れば、この不安も少しは和らぐのではないのでしょうか。データを活用して課題と向き合う社会へ、統計、数学を土台とした1つの見方を紹介します。

11/14（土）（シニア大学講座室） 13：00～15：00

「広告のエモーショナル表現」

エモーショナルとは感情的な様子を意味することばです。現在、企業は広告にエモーショナル表現を用いることで消費者へ強い印象を与えています。本講座では、テレビコマーシャルを事例に挙げ、どのような仕組みで私たち消費者の心が動かされているのか広告表現の工夫を解き明かしていきます。

11/21（土）（シニア大学講座室） 13：00～15：00

「高齢者の咀嚼と嚥下について」

加齢と共に、当たり前に行っていた噛む動作の「咀嚼」と飲み込む動作の「嚥下」が、だんだんスムーズにできなくなります。そのために気をつけなければならない食べ物についてや、食べ物以外の歯のこと、舌のこと、姿勢のことなど色々な視点から、改めて「咀嚼」「嚥下」のメカニズムや大切さを考えてみましょう。

11/26（木）（シニア大学講座室） 14：00～16：00

「環境倫理を考える—ディープ・エコロジーとは？」

近年、世界的な環境問題への関心の高まりから、エコロジーが注目されています。しかし、従来のエコロジーは、主として科学的・技術的な側面からの問題解決を目指してきました。そこでノルウェーの哲学者、アルネ・ネスは、現在の地球規模の環境問題を根本的に解決するためには、現在の社会システムや文明そのものの変革、つまり私たちの世界（価値）観や生活様式そのものの変革が必要であると考え、新たにディープ・エコロジーを提唱しています。

これは哲学の問題なのです。

12/22（火）（シニア大学講座室） 14：00～16：00

「文豪たちの語学力」

戦前の定番エリートコースといえば、旧制高等学校を卒業して帝国大学に進むことであった。立身出世が約束された最難関の道を歩みながらも、文学部にドロップアウトしたり、最終的に専業作家となることを選んだ文学者も多い。この講座では、谷崎潤一郎や芥川龍之介のような「エリート文学者」たちの人生の軌跡をたどりながら、彼らの外国語能力にスポットライトを当ててみたい。